

個別事業シート

基本目標2
施策の方向性

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
少子化対策 ①出会い・結婚のサポート

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)	
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財			
婚活イベント支援事業	H30～R4 (連携中核都市 圏の実施期間)	少子化の要因の一つである未婚化及び晩婚化に対する取り組みとして、結婚を希望する独身の男女のために、結婚の推進を目的とした出会いの機会を積極的に提供する事業を支援する。	結婚を希望する20歳以上の独身の男女に対して健全な出会いの機会と交流の場を提供するもので、構成市町内の会場で開催される事業、又は構成市町を発着するツアーイベント等に対して交付する。 ⇒R2年度は竹原市において実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からR3年度へ延期となった。	【目的】 出会いのきっかけにつながる活動の促進や近隣市町との連携による出会いの場の創出 【目標数値】 なし	社会福祉課	将来像2 “文教のまちたけはら”の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる”ちから”づくりの推進	0					0	—	【担当課意見】 R3年度に延期して実施 【今後の見通し】 R3年度に竹原市・熊野町で実施し、R4年度に江田島市・海田町で実施予定。
				【目標】 【目標数値】											【担当課意見】 【今後の見通し】
				【目標】 【目標数値】											【担当課意見】 【今後の見通し】
				【目標】 【目標数値】											【担当課意見】 【今後の見通し】
				【目標】 【目標数値】											【担当課意見】 【今後の見通し】

個別事業シート

基本目標2
施策の方向性

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
少子化対策 ②妊娠・出産期への切れ目のない支援

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)	
						該当す将来像・目標像	元氣プロジェクト		国	県	その他	一財			
妊婦・乳幼児健康診査支援事業	R2	妊娠中に必要な健診費用の補助及び乳児期の健康診査費用の補助を行うことで、必要な時期の健診受診を促し母子の健康及び、乳児の健康の保持増進を促進する。	母子手帳交付時に妊娠中に必要な健診の受診券及び乳児期の受診券を交付し、妊婦健診受診の促進及び乳児の健康の保持増進に取り組んだ。	【目的】 妊婦健診の受診促進及び乳児期における健康の保持増進 【目標数値】 ○妊婦健診 ・妊婦一般健康診査補助券 1,495件 ・妊婦一般健康診査検査券 127件 ・子宮頸がん検診受診券 125件 ・クラミジア健診受診券 129件 ○乳児一般健診 149件 ○新生児聴覚検査 114件	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	10,699,066					10,699,066	B	【担当課意見】 妊婦の健康管理と乳幼児の健やかな発育支援につながった。しかし、母子健康手帳交付数が予想よりも少なく、補助券等の使用枚数が目標よりも下回った。 【今後の見通し】 令和3年度から産婦健康診査2回の補助が追加になり、産後の心身の健康状態についても把握し、支援につなげる。
妊婦健康診査支援事業	R2	妊娠中からの妊婦の健康管理とあかちゃんの健やかな発育を支援するため妊婦に対する健康診査等の事業を実施することにより、子育て支援対策の充実を図る。 【主な事業】 妊婦健康診査1回受診につき2,000円(上限24,000円)の奨励金を交付する。	母子手帳交付時に事業内容について説明し、産後赤ちゃん訪問や予防接種券交付時に申請を促し、妊婦やあかちゃんの健康の保持増進に取り組んだ。	【目的】 妊婦の健康管理とあかちゃんの健やかな発育を促進する。 【目標数値】 132件	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	2,160,000					2,160,000	A	【担当課意見】 目標数値は下回ったが、事業説明を行い、産後に申請を促せたことで妊婦の健康管理とあかちゃんの健やかな発育の支援につながった。 【今後の見通し】 妊婦と胎児の健康の保持増進及び妊婦健康診査の受診を促進するため継続して実施する。
不妊治療費補助事業	R2	不妊検査・一般不妊治療費及び特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)について、費用の一部を助成することにより、不妊治療を希望するカップルの経済的負担の軽減と、子どもを産みやすい環境を確保し、子育て支援対策の充実を図る。 ●特定不妊治療 【R1実績/R2実績(R1実績との差)】 助成件数 実 6人/6人(±0人) 延 8件/11件(+3人) ●不妊検査費等 【R2実績】 助成件数 実1人 延1人	ホームページの掲載、チラシを保健センター・市内等に配架するとともに西部東保健所などの関係機関と連携し、該当者及び申請を検討している市民に対して継続的に周知し、経済的負担を軽減し、子どもを産み育てやすい環境づくりに取り組んだ。	【目的】 不妊治療を行うことで、子どもを望む家庭に子どもが待てる機会を周知する。 【目標数値】 不妊治療支援費補助金 9件 一般不妊治療助成 2件	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	1,613,605					1,613,605	A	【担当課意見】 夫婦で不妊検査等を行い一般不妊治療については目標数に達しなかったが、高額治療である特定不妊治療に対する金銭的な負担の軽減につながっていることから、妊娠を希望する夫婦が安心して治療を受けることが出来るよう支援した。 【今後の見通し】 R4年度から不妊治療の保険適用が開始になる。
産婦人科健診施設支援事業	R2	妊婦に対し妊婦健康診査事業の継続受診及び妊娠中の母性支援の充実を図るため、運営費補助を行う。 (H28年度から開始)	医療機関：医療法人社団仁慈会安田病院 診察日：月2回→月6回(R3年度より開始) 医療機関への支援内容：医療に必要な運営補助 ・妊婦健康診査受診者実績 R1 5人(延べ24人) R2 4人(延べ13人) ・運営費補助金 R2 840,000円/年 R3 1,260,000円/年	【目的】 妊婦に対し妊婦健康診査事業の継続受診及び妊娠中の母性支援の充実を図る 【目標数値】 妊婦健康診査受診者数 年6人	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	840,000					840,000	B	【担当課意見】 妊婦健診が診察日増加により、受診しやすくなり継続受診にもつながる。 【今後の見通し】 R3年度から妊婦健診の診察日を拡大した。
産後ケア推進事業	R2	生後1年未満の母子を対象に、家族等からの援助を受けることが出来ない者で、産後の心身に不調がある者や強い育児不安がある者が母子で委託する助産所に宿泊をして、育児相談や心身の休息の機会の提供を受ける。	必要な母子がいつでも利用できるように、母子健康手帳交付時、ホームページ及びたけっこダイアリー等で周知した。R2年度の利用は1組であった。	【目的】 産婦の身体的、精神的負担の軽減や育児の手法の理解 ・児童虐待の予防 【目標数値】 3人	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	106,960	45,000	15,000			46,960	B	【担当課意見】 利用者は少ないが、産後うつや児童虐待予防のため継続して実施する必要がある。 【今後の見通し】 R3年度から、対象者を拡充し、産後の身体的・精神的な支援の強化に取り組む。必要人が本事業を利用できるように、引き続き周知を図る。
子育て世代包括支援センター事業	R2	妊娠から子育て期にわたるまでの総合的相談支援を実施する。	R2年度から、保育士が従事し、子育て期の支援を強化した。母子健康手帳交付時の相談対応103件、妊産婦等の訪問63件、妊産婦等の相談46件、妊産婦等の電話相談266件、支援計画の立案・実施18件の支援を行った。	【目的】 子育てしやすい環境の醸成につながるとともに子どもの健やかな成長につながる。 【目標数値】 支援ニーズの高い妊産婦への支援実施の割合 100%	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	3,236,183	1,061,000	1,348,000			827,183	A	【担当課意見】 全ての妊産婦に漏れなく、切れ目なく支援した。特に、支援ニーズの高い妊産婦には個別支援計画を立案し、対象者に応じた支援を提供した。 【今後の見通し】 R3年度から、育児期の支援を一層強化するため、親子遊びの教室を開始し、相談しやすい環境を醸成する。

個別事業シート

基本目標2
施策の方向性

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
少子化対策 ③子育て支援

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元氣プロジェクト		国	県	その他	一財		
たけのこ子ども園運営事業	R2	教育・保育を一体的に行い、子どもの心身の発達を助長するとともに、保護者に対する子育ての支援を行うため、令和2年4月からたけのこ子ども園を開園する。	就学前教育・保育及び保護者に対する子育て支援を実施した。	【目的】 就学前教育・保育、保護者に対する子育て支援 【目標数値】 なし	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	60,855,000	500,000			60,355,000	—	【担当課意見】 令和2年4月に開園し、就学前教育・保育及び子育て支援を行った。 【今後の見通し】 引き続き就学前教育・保育及び子育て支援を行う。
乳幼児等医療費助成事業	R2	乳幼児・児童の疾病の早期発見と治療を促進し、健やかな育成を図るため、医療費の助成を実施している。	県の助成制度(就学前児童に関わる入院、通院時の自己負担額の一部助成)に加えて、市独自の施策として、助成の対象を拡大し、小学6年生修了時まで入通院時の自己負担額の一部助成を実施。R2年7月から入院について、対象を中学3年生修了時まで拡大した。	【目的】 乳幼児・児童の疾病の早期発見と治療を促進し、健やかな育成を図る。 【目標数値】 なし	市民課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	28,453,620		7,452,000		21,001,620	—	【担当課意見】 県の助成対象(就学前児童)に加え、市独自の施策として、通院は小学6年生修了時まで、入院は中学3年生修了時まで拡大して助成を実施している。 【今後の見通し】 引き続き取組を継続して実施する。
放課後児童クラブ事業	R2	就労等により昼間家庭に保護者のいない児童を対象に、授業が終わった後の遊び及び生活の場を提供し、支援員の活動支援のもと児童の健全育成を図る。 【対象児童】 小学校1～6年生まで 【実施箇所】 市内9校のうち8校区で実施。(直営5箇所、委託3箇所) 【定員】350人 【開設時間】 平日14:00～18:00、学校休業日8:00～18:00(日、祝、お盆、年末年始を除く) 【保護者負担金】児童一人当たり月額3,000円	市内8箇所10教室で放課後児童健全育成事業を実施した。また、支援員の資質の向上のため、支援員研修会を実施した。	【目的】 保護者の就労支援と児童の健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業を実施する。 【目標数値】 待機児童 0人	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	72,675,569	27,822,000	21,230,000	8,283,000	15,339,569	C	【担当課意見】 子どもが減少しているにもかかわらず、高学年の放課後児童クラブの利用者が増加している児童クラブがあり、児童クラブによっては、定員を超え受け入れられない状況(高学年の待機児童)が発生している。 【今後の見通し】 子どもが減少していることなどにより、待機児童は0人になる見込みである。
病児・病後児保育事業	R2	保護者が勤務等の都合により自ら看護を行うことが困難な時に、病院等に付設した専用施設で病中や病気の回復期にある子どもを一時預かりをする。	委託により実施した。 ○病児対応型(1施設) ポビー(米田小児科) ○病後児対応型(1施設) さくらんぼ(ふれあい館ひろしま)	【目的】 病児について、病院等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育を実施する。 【目標数値】 なし	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	9,415,041	3,367,000	3,137,000	1,200	2,909,841	—	【担当課意見】 保護者の保育ニーズに適切に対応し、安心して子育てができる環境の充実に繋がっている。 【今後の見通し】 子育てと就労の両立を支援するため、継続して取り組む。
一時預かり事業	R2	安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図るため、家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児を、認定子ども園、保育所、地域子育て支援拠点等において、一時的に預かり、必要な保育を行う。	公立保育所(1箇所)・公立認定子ども園(3箇所)・私立認定子ども園(5箇所)・ふれあい館ひろしまの10箇所	【目的】 保護者の一時的な保育ニーズに応えるため、一時預かり事業を実施する。 【目標数値】 なし	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	6,364,000	2,121,000	2,121,000		2,122,000	—	【担当課意見】 保護者の保育ニーズに適切に対応し、安心して子育てができる環境の充実に繋がっている。 【今後の見通し】 事業の周知を図るとともに、保護者の保育ニーズに応じた事業の充実に努めていく。
地域子育て支援拠点事業	R2	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。	つくしんぼ(特定非営利活動法人ふれあい館ひろしま)・ミルクハウス(社会福祉法人明星福祉会)の2箇所	【目的】 地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実に資し、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。 【目標数値】 子供一人あたり利用回数 R6:27.5回/人	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	19,973,407	6,363,000	6,363,000		7,247,407	C	【担当課意見】 乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てを支援している。 【今後の見通し】 事業の周知を図るとともに、引き続き事業の充実に努めていく。
ファミリーサポートセンター事業	R2	乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と、当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行い、地域における育児の相互援助活動を推進する。	竹原市社会福祉協議会に委託し実施した。	【目的】 会員数の増加 【目標数値】 登録会員数 R6:413人	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	4,033,995	1,106,000	1,106,000		1,821,995	A	【担当課意見】 登録会員数も増加しており、子育て中の保護者には必要な事業である。 【今後の見通し】 子育てと就労の両立を支援するため、継続して取り組む。
延長保育事業	R2	安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図るため、保護者の勤務条件や家庭の事情などにより、支給認定時間を超えて、引き続き保育所・認定子ども園を利用する児童に対し、早朝・夕方保育を実施する。 早朝 7:00～7:30(3園) 夕方 18:30～19:00(全園) (保育短時間の場合は、利用時間以降)	市内すべての保育所及び認定子ども園において延長保育を実施した。	【目的】 就労と子育ての両立を支援するため、保護者のニーズを踏まえ、保育所・子ども園で延長保育を実施する。 【目標数値】 なし	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	2,400,000	800,000	800,000		800,000	—	【担当課意見】 保育所、子ども園において受け入れ体制が整っており、必要性に応じ利用可能となっている。 【今後の見通し】 子育てと就労の両立を支援するため、継続して取り組む。